

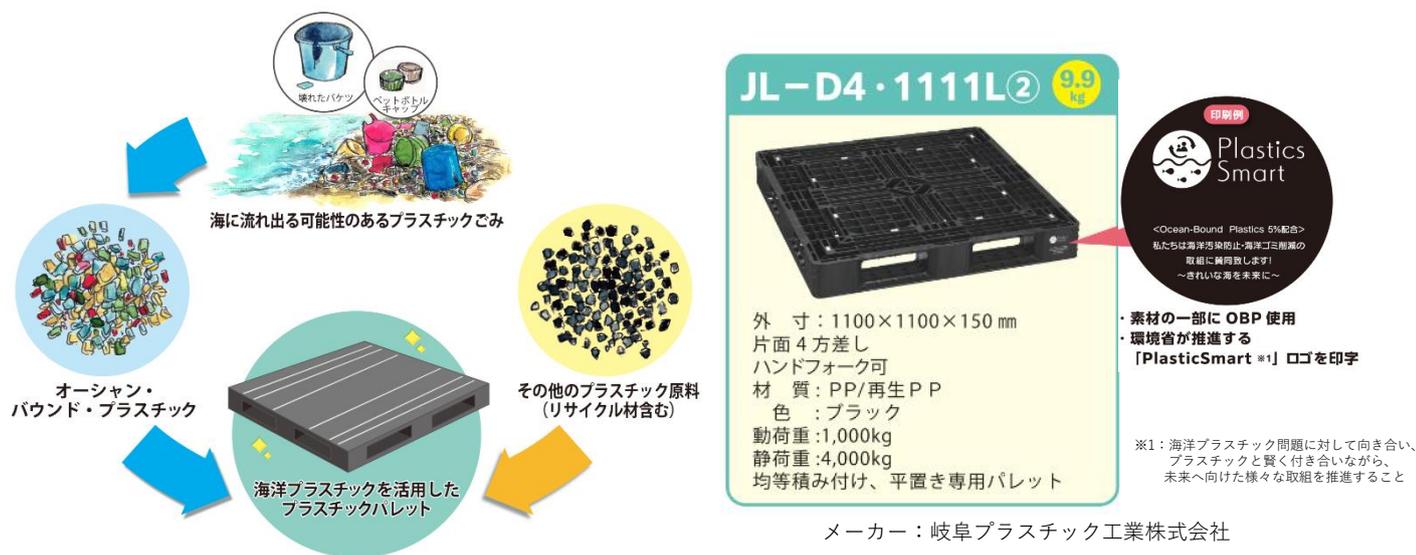
## 化粧品業界初・製品の輸送に使用する物流資材として 海洋プラスチックをアップサイクルした リサイクルパレットを導入

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川美紀）は、製品の輸送、保管などに使用する物流資材として、素材の一部に海洋プラスチック(OBP：オーシャン・バウンド・プラスチック※)をアップサイクルしたリサイクルパレットを、本年7月より導入開始します。

現在ポーラでは約15,000枚のパレットを保有しており、5年で全てのパレットをこのパレットに交換することを目指しています。すべて導入完了すると、バージン材と比較して169,832kg、杉の木で換算すると12,131本分のCO2排出量削減と、海洋プラスチックごみ約7.5tの流出防止に繋がることが期待できます。

物流資材にOBPを活用したリサイクルパレットを導入するのは化粧品業界では初めてのことです。

※OBP（オーシャン・バウンド・プラスチック）とは：海岸線から50km以内の内陸部で正式な廃棄物処理を行っていないコミュニティから収集されたプラスチック素材のこと。



ポーラは2029年までのサステナビリティゴールの一つに『未来に、次世代に環境をつなぐアクション』を掲げ、お客さまへの「新たな価値提供の実現」を前提としながら、同時に「環境に配慮したサービス」を目指して様々な環境負荷低減の取り組みを行っています。この度、物流に関する取り組みの一つとして、弊社が製品の輸送、保管の際に使用する物流資材に海へ流れ出る可能性のあるプラスチックごみをアップサイクルしたリサイクルパレット(メーカー：岐阜プラスチック工業株式会社)を採用しました。

近年、廃プラスチックによる環境問題が世界的に注目を集めていますが、なかでも海中、海辺に捨てられた海洋プラスチックごみが大きな問題となっています。今回採用したパレットは、バージン材と比較しCO<sub>2</sub>削減効果の大きい再生材を使用したパレットに海洋プラスチックごみをアップサイクルし、リサイクル材として一部活用することで、世界的に問題となっている海洋プラスチックごみ問題の解決に寄与することができます。

# POLA



FAIRY JAPAN  
POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。